

此花・瓢箪地区

[距離] 約4km [時間] 約70分 [坂・階段] あり

スタート 彦三緑地～①旧彦三一番丁・母衣町こまちなみ保存区域～②久保市乙剣宮～③暗がり坂～④主計町～⑤崇禅寺～⑥本願寺金沢別院（西別院）～⑦安江八幡宮～⑧乗善寺～⑨安江町北交差点～⑩横安江町商店街～⑪真宗大谷派金沢別院（東別院）～⑫博労町交差点～⑬尾張町町民文化館～⑭旧三田商店～⑮東内惣構堀（九人橋川）

～ゴール 橋場町緑地



コース概要

平坦な道が続くコースで、壮大な東別院や西別院など寺院群を見て歩くことができます。また、「加賀起き上がり」発祥の地と言われる、安江八幡宮は金沢五社の1つで、安産祈願に訪れる方も多くみられます。

②彦三緑地

加賀藩六代藩主前田吉徳から藩士遠田自省が拝領したといわれるツツジ（遠田のつつじ）が残る緑地。72品種1,400本のツツジと13品種80本のボタンが植栽されている。



①旧彦三一番丁・母衣町こまちなみ保存区域

中の橋からおおむね小橋までの浅野川に沿って広がる、閑静な武士系住宅地。現在もその名が残る「彦三」は、藩政期この地に居を構えた不破家に由来するものであり、「母衣町」は母衣衆と呼ばれる武士の組地があったことに由来するとされている。区域の南側には市指定保存建造物の「野坂家」や土塀が残り、この町の積み重なる歴史が感じられる。

③暗がり坂

久保市乙剣宮より主計町に通じる小路を指し、日中も日の当たらない暗い坂道なので、この名で呼ばれている。暗闇坂ともいう。



⑬尾張町町民文化館

明治40年（1907）に建てられた銀行を活用。外観は、黒しっくい、内部は、白しっくい仕上げ。石川県指定有形文化財。

⑭旧三田商店

昭和5年（1930）建築の鉄筋コンクリート造2階建ての建物。外壁にチョコレート・ブラウンのスクラッチ・タイルを貼っている。交差点に面する角を丸めて正面玄関を設け、玄関欄間にはステンド・グラスを入れている。市指定保存建造物。



⑮東内惣構堀（九人橋川）

旧小尻谷町（東兼六町）あたりから始まり、旧味噌蔵町、橋場町を巡り、主計町に至り浅野川へ注いでいた。橋場町交差点にある枯木橋付近には、升形の惣構門があり、これより城内とされていた。枯木橋下流側に、発掘調査に基づいて整備された東内惣構跡枯木橋詰遺構がある。